

不法投棄未然防止事業協力評価報告書

＜平成23年12月12日実施＞

第三者委員会

| | | | | | | | | | |
|------------------------------|---------------|--|---------------|-------------------|----------------------------|--------------------------------------|-------------|-----|-------|
| No.42-1 | | 都道府県名：福岡県 | | | 覚書を締結した市町村等名：福岡市 | | | | |
| 協力の対象となる地域と当該地域世帯数及び人口：福岡市全域 | | 世帯数※ ¹ 708,027 | | | 人口※ ¹ 1,463,826 | | | | |
| 事業協力年度※ ² ： | | (H21)・(H22)・(H23)・(H24) | | | | | | | |
| | 防止事業 | | | | 引渡事業 | | | | |
| H21 | 実施期間 | 平成21年2月1日～平成22年1月31日 | | | 実施期間 | 平成21年10月1日～平成21年12月31日 | | | |
| | 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄防止看板の作成と設置 ・不法投棄監視パトロールの実施 ・地域住民によるパトロールの実施 | | | 内容 | 職員が回収し、各清掃事務所に保管後、委託業者が指定引取場所まで輸送する。 | | | |
| H22 | 実施期間 | 平成22年2月1日～平成23年1月31日 | | | 実施期間 | 平成22年10月1日～平成22年12月31日 | | | |
| | 内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄防止看板の作成と設置 ・不法投棄監視パトロールの実施 ・地域住民によるパトロールの実施 | | | 内容 | 職員が回収し、各清掃事務所に保管後、委託業者が指定引取場所まで輸送する。 | | | |
| 品目 | | エアコン | ブラウン管式 テレビ | 液晶式及び プラズマ式テレビ | 冷蔵庫・冷凍庫 | 洗濯機・ 衣類乾燥機 | 合計 | | |
| H21 | 引渡事業の実績(台) | 9 | 149 | 0 | 36 | 14 | 208 | | |
| H22 | 引渡事業の実績(台) | 7 | 103 | 0 | 28 | 5 | 143 | | |
| 費目 | | 防止事業 | | | | 引渡事業 | | | 合計 |
| | | 設備費 | 労務費 | その他 経費 | 小計 | 撤去等 費用 | 再商品化 等料金 | 小計 | |
| H21 | ①上限額(千円) | 3,600 | 9,252 | 4,200 | / | 130 | 541 | / | |
| | ②事業に要した費用(千円) | 1,628 | 9,245 | 3,875 | 14,748 | 102 | 624 | 726 | |
| | 交付した助成額(千円) | ①②のいずれか低い額の合計×助成率 | | | 7,374 | 102 | 541 | 643 | 8,017 |
| H22 | ①上限額(千円) | 1,050 | 16,105 | 0 | / | 123 | 420 | / | |
| | ②事業に要した費用(千円) | 998 | 13,681 | 0 | 14,679 | 29 | 413 | 442 | |
| | 交付した助成額(千円) | ①②のいずれか低い額の合計×助成率 | | | 7,339 | 29 | 413 | 442 | 7,781 |

※1：世帯数及び人口は、平成22年国勢調査速報による

※2：事業協力年度の評価について

①不法投棄削減の評価

- ・平成21年度協力事業において市町村等が掲げた削減見込の達成状況についての評価
- ・平成22年度協力事業において市町村等が掲げた削減見込の達成状況についての中間評価

②防止事業及び引渡事業の評価

- ・平成21、22年度に行われた協力事業の実施状況とその成果についての評価

不法投棄未然防止事業協力評価報告書

＜平成23年12月12日実施＞

第三者委員会

| | | |
|---------|-------------------------|------------------|
| No.42-2 | 都道府県名：福岡県 | 覚書を締結した市町村等名：福岡市 |
| 事業協力年度： | (H21)・(H22)・(H23)・(H24) | |

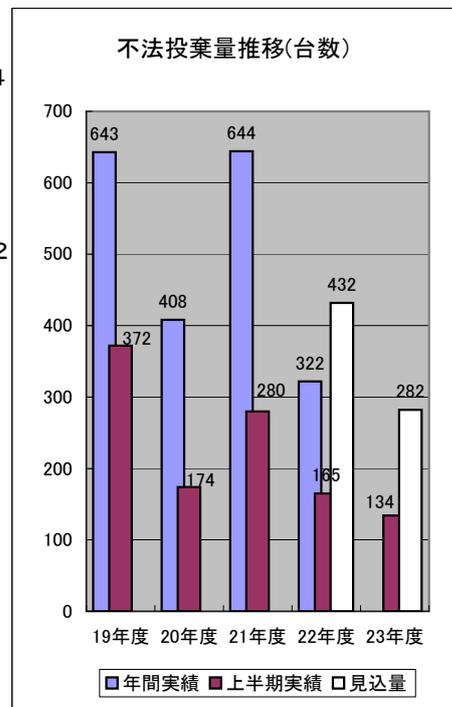
I. 不法投棄量の削減状況

イ. 平成21年度事業による状況

平成21年度事業実施による成果として、平成19年度の特定家庭用機器廃棄物の不法投棄発見量643台に対する平成22年度の削減率を32.8%（年間不法投棄発見量432台）と見込んでいたが、同発見量は322台で、平成19年度に対し49.9%減となった。

ロ. 平成22年度事業実施による状況

平成22年度事業実施による成果として、平成20年度の不法投棄発見量408台に対する平成23年度の削減率を30.9%（年間不法投棄発見量282台）と見込んでいる。平成23年度の同発見量は4～9月度までの半期実績では134台となっており、平成20年度の同期間の実績に対して23.0%減となっている。



見込量：応募申請書に記載された1ヶ月の平均見込み台数に12を乗じ、小数点以下を四捨五入

II. 防止事業・引渡事業の実施状況

イ. 平成21年度事業

①防止事業について

不法投棄防止看板の作成と設置(800枚)
不法投棄監視パトロールの実施(2名、360回)
地域住民によるパトロールの実施(12回)

②引渡事業について

10月46台、11月43台、12月119台、計208台を引渡した。

ロ. 平成22年度事業

①防止事業について

不法投棄防止看板の作成と設置(800枚)
不法投棄監視パトロールの実施(2名、359回)
地域住民によるパトロールの実施(12回)

②引渡事業について

10月48台、11月44台、12月51台、計143台を引渡した。

III. 事業の評価

平成21、22年とも、両事業は計画通り実施された。

平成21年度事業実施の結果として、平成22年度不法投棄削減見込を達成した。

IV. 今後の課題等